

第13回 「おきなわの観光」意見発表コンクール

Fly & Board

－ 沖縄観光の新たな“Gate Way”を！－



琉球大学
観光産業科学部
知念志帆



手ぜまな那覇港

2016年外国人観光客数（予測）186万人
うち56万人（約3割）がクルーズ船客

那覇港

2015～2017年末の間に
過密を理由に85隻の寄港を断っている

<経済損失>

750億円



（アイデアの背景）





人も物もいっぱい那覇！



沖縄県の人口の2割強が
那覇に住んでいる

平成27年度 入域観光客数
793万6,300人 ÷ 365日 = 約2万2,000人は
那覇空港 or 那覇港から

「アイデアの背景」



交通渋滞

観光施設の
集中



ホテル不足





Fly & Board



「アイデアの背景」

嘉手納基地の
軍民共用



中城湾の
クルーズ振興



沖縄の玄関



を中北部に設置！

中北部の観光振興
那覇市の過密分散





具体策①：CIQの迅速化

アイデアの内容

自動化ゲート



税金自動払戻機
(KIOSK)

一括入国審査



事前入国審査



C…Customs(出入国審査)
I…Immigration(税関)
Q…Quarantine(検疫)



具体策②テンダーボートで

テンダー・ボートを常駐

中城湾



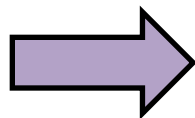
クルーズ船



Max 5,000人/隻 ÷ 100名/隻 = **50回**

常駐 → ÷ (100名/隻 + 50名/隻 × 2) = **25回**

バス建設・管理費
62億円



莫大な建設コストの
かかるバスが
不可欠ではない!



「アイデアの内容」

具体策③：嘉手納基地の軍民共用

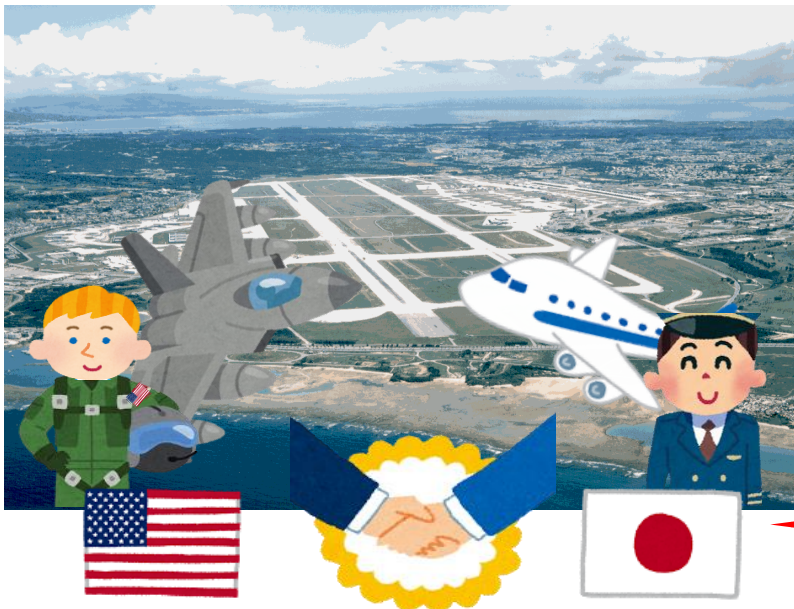
4,000メートル級 滑走路を2本

⇒ 東アジアでも最大級の“嘉手納飛行場を軍民共用”

＜先例＞

- ★三沢空港（米軍）
- ★小松空港（自衛隊）
- ★ANA139便非常時に着陸
- ★軍務以外の用途で民間航空（米系）発着あり

民間旅客機の
発着の先例も



アイデアの内容



(+α) 水陸両用バスの大胆活用

国家戦略特区で
〈水陸両用バスをテンダー・ボートに〉
GTS-1

実現可能性



定員：50人（大型リムジンバスと同様）
使用耐久時間：35,000時間



クルーズ客をそのまま
観光地に！！

約55億円の
ターミナル不要 !!!



CIQの緩和

実現可能性

韓国,台湾で実施
2017年
桃園空港で再開

事前入
国審査

「信頼できる
渡航者」への
ゲート拡大

自動化
ゲート



事前審査は
船社が実施
➡ 沖縄のコスト削減に

一括入
国審査

KIOSK
の導入

韓国 仁川空港
24時間
365日稼働



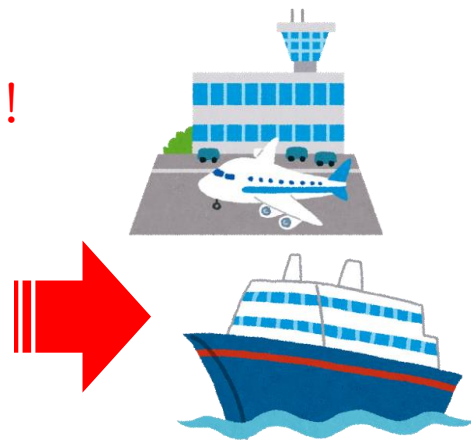


顔認証で水際作戦

【クルーズ客22名が不法滞在者化の問題】

沖縄は海に囲まれているので逃げるには空港か港！

日本が誇る世界最高水準の
*「顔認証システム」を空港・港に設置
同時に300万人の顔を認証
しかし！！エラー率わずか **3.1%**



*世界20カ国以上ですすでに導入済み

「一括入国審査」
「自動化ゲート」
の顔写真を共有



「顔認証システム」で
犯罪を阻止！



実現可能性

嘉手納利用が不可欠なのは！



那覇周辺の渋滞緩和＋中北部観光振興の貢献

1,000億円強の経済波及効果



将来性・継続性

直接効果



クルーズ客の
県産品消費

直接効果
459億円

1次波及



雇用者の
所得が増加

関連産業の生産増

間接1次波及効果
503億円

2次波及



消費関連産業の
生産も増加

県産品消費による生産増
(関連産業従業員)

間接2次波及効果
226億円

クルーズ船寄港
(予測) 経済総波及効果

1,188億円



高効率の経済効果！

将来性・継続性



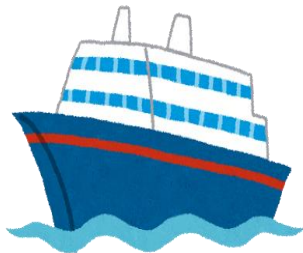
現在の沖縄観光



観光客による
1万円の消費

1万5,000円

1.7倍



中城湾クルーズ振興



2万6,000円

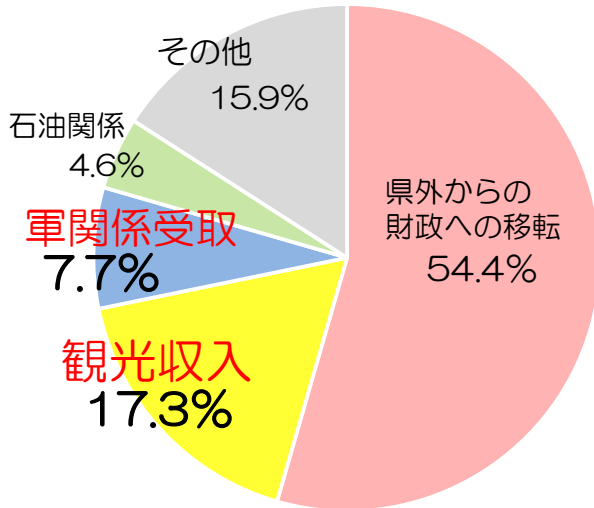
観光と平和の島への途上

基地 関連 収入

👉 2,000億円/年前後

しかし！！
観光収入の約半分！

【県外受取りの構成】



「基地返還跡地を利用し
平和で豊かに暮らせる沖縄」
(21世紀ビジョン)

平和と観光の島
OKINAWAへ

〜将来性・継続性〜

観光地沖縄のリノベーション



将来性・継続性

Resort Island
Okinawa



やんばる国立公園指定
(2016)

美ら海水族館
イオンモールライカム

那覇市周辺
は過密状態...



手つかずの観光資源が豊富な
中北部に観光拠点を！



参考文献・資料

1. 「AMPHICOACH」 アンフィーコーチ社 (2016/06/05)
<http://www.amphicoach.net/page.php?s=products>
2. 「沖縄県観光振興基本計画 (第5次)」 沖縄県 (2016/06/07)
[www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/...](http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoseisaku/)
3. 「沖縄21世紀ビジョン基本計画」 沖縄県 (2016/06/05)
www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chosei/keikaku/documents/21kihonkeikaku.pdf
4. 「顔認証：NECの生体認証ソリューション」 NEC (2016/06/07)
jpn.nec.com/biometrics/face/index.html
5. 「クルーズ船寄港地沖縄」 海邦総研 (2016/06/08)
www.kaiho-ri.jp/wp-content/uploads/.../253ed25d6fa93f78cd9ea484a788a50.pdf
6. 「クルーズ船那覇港に85隻寄港できず15~17年岸壁不足で」 琉球新報 (2016/06/07) <http://ryukyushimpo.jp/news/entry-219093.html>
7. 「訪人外国人旅行者数の拡大に向けた取り組みについて」 法務省入国管理局 (2016/06/07)
<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/bunka/kokusai/dai1/siryou5-3.pdf> etc.

コンクールに参加して



沖縄の観光の課題、未来の沖縄について、
学ぶ機会をいただき、ありがとうございます。

未来の沖縄観光を担う一学生として、観光
への理解をよりいっそう深めていきたいと思
います。



ご清聴、ありがとうございました！

